

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業  
二〇一三年度地域研究プロジェクト

八百屋のてっぺん

## 激写！社長の素顔

神戸学院大学人文学部一回生矢嶋ゼミ  
プライベート班

大林来輝 後藤田幸奈 田中将太

私たちは、二店舗を構える「八百屋のてっぺん」の社長・辰巳太一さん(三〇)に話を伺うことができた。店では皆を束ねる心強いリーダー。そんな彼のプライベートとはどのようなものなのか。その素顔に迫る。



## 社長と社員さん

「八百屋のてっぺん」は社員一人、パート六人で経営されている。

主に社長の後輩が働いており、従業員には自分と同じこと、お店のことを考えてほしいと語った。社長がお店をよりよいものにするために意識していることは、従業員の方たちと何でも話し合えるようにフレンドリーに接すること。店内では、従業員たちがみな仲良く、和気あいあいと仕事をしていた。



## 社長と奥さん

社長には、一歳年上の奥さんがいる。社長の先輩の友達であった奥さんとの最初の出会いは、三宮だったそう。現在、奥さんはネイリストを目指しており、店舗を広げることを目指している社長と、夫婦共に夢に向かって努力している。ちなみに、二〇一四年で結婚十周年を迎え、現在でも大変仲が良いそうである。

## 社長とお子さん

社長には、三人のお子さんがある。小学三年生の長男、小学二年生の次男、保育園年長の長女。休みの日には一緒に水族館へ行くなど仲が良い。子どもと接する時は、意見を尊重し、だめなことはきちんと叱ることを心掛けていくそう。子どもたちには、何にでもチャレンジし、自分で自分の道を切り拓いていってほしいと語った。ちなみに、長男は電車の運転手、次男はお店を継ぐことが現在の将来の夢だそう。